



いちの つよし  
**市園 豪**さん(43)

時吉地区出身。高校卒業後、東京で就職するが、地元で働きたいとの想いが強く帰郷。自動車整備関連の会社に就職し、30歳で同地区に自動車整備工房1ZONを開業。4人の子どもがおり、現在は県PTA連合会の副会長としても活動している。



自動車整備  
×  
市園  
豪

▼時吉地区にある株式会社1ZON<sup>いっぞん</sup>。敷地内には整備の依頼を受けた自動車がずらりと並びます。工場で自動車整備に汗を流すのは同地区出身の市園豪さん。市園さんの確かな技術を頼って多くの依頼が寄せられ、忙しい日々を送っています。

▼昔から機械いじりが好きだったと話す市園さんですが、自動車の技術の進歩は早く、追いつくのは大変だそうです。「勉強は大変ですが、技術があればお客さんとの信頼関係もでき、実績も上げられます。自動車整備の働き方も変わり、今の車屋さんはいろいろな電子機器を使いこなして、かっこよく働いています。若い人にもっと知ってほしいですね」と笑顔を見せます。

▼市園さんには様々な依頼が来ますが、中にはとても難しい案件もあり、苦労するそうです。しかし「終わりの来ない、ゴールの無い仕事はない」との信念から依頼には必ず応じます。「自分一人で解決できないこともありました。同業の技術者たちにもアドバイスをもらい、解決できました。仕事を通してお客さんや自動車関係の様々な人と信頼を築いてつながりができていくので、やりがいがあります」と話します。

盈進小学校卒業式。  
PTA代表でお祝いの  
言葉を伝えました。



スキャンツール。  
自動車と接続して正常に作  
動しているか診断します。

▼市園さんは、教育にも関心が高く、平成29年から盈進小学校のPTA会長を務め、盈進小学校創立160周年記念行事を行うなど、精力的に活動。令和元年から北薩区域代表で県PTA連合会副会長を務めています。「子どもの成長には親の役割が大きいと思います。親と先生が協力して子どもたちがより良い環境で学べるよう頑張りたいと思います。北薩地区の声を県に届け、県全体の教育の質を上げたいと考えています」と強い想いを話しました。九州ブロックPTA協議会の代議員にも選ばれた市園さん。「九州各地に出張があり、工場を留守にすることも増えますが、子どもたちのために頑張りますのでよろしく願います」と笑顔で話しました。